

## 診療情報使用に関するお知らせ

### 『研究課題名 緑内障手術における術後乱視の検討』

#### 【研究の背景および目的】

緑内障は進行性の視野障害を呈する疾患です。現在の唯一確立された治療法は、眼圧下降です。眼圧下降作用を有する点眼薬で眼圧下降が充分でない場合は、手術を考慮します。現在多く施行される手術は、眼内の房水を結膜下に流出させる線維柱帯切除術です。線維柱帯切除術は眼圧下降をはかるかわりにその手術の性質上、乱視が増強することがあり、術後の視力、特に裸眼視力に影響をおよぼすことがあります。緑内障手術と術後乱視の増強の要因を検討することで、術後の視機能をあげる手術方式の検討、術式選択に貢献すると考えます。

#### 【研究対象および方法】

この研究は、聖隷佐倉市民病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2021年以降に聖隷佐倉市民眼科において、緑内障の濾過手術を受けた症例です。

診療録(カルテ)から抽出した術前検査および手術成績を解析することにより、緑内障手術と術後乱視量増強の関連を調査します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

#### 【連絡先および担当者】

聖隷佐倉市民病院 眼科

職位・氏名 部長 坂本理之(研究責任者)

電話 043-486-1151 内線 2409